

令和7年度 社会福祉法人 静和会・本部  
運営方針及び事業計画

1、介護人材の確保

介護人材の獲得に力を入れていきます。業界全体の問題である介護人材の不足ですが、その中で、選ばれる職場となるため情報の発信、就職説明会への積極的な参加、また、定着のための体制づくりに努めてまいります。

また、外国人の定期的な採用も視野にいれ情報の入手に取り組んでいきます。

2、認知症ケアの充実

重度の方の支援を行います。研修にも力を入れ、認知症の理解を深めます。委員会機能の強化を中心にケース会議等で認知症の方への愛情と病気に対する正しい知識を持ち、良好な関係づくりを行います。受容ケアで安心感のあるケアを行うとともに、段階的にその人らしい個別的な関わりを重視し自己実現に向けて努力します。

3、社会貢献活動の推進

社会福祉法人としての責務を果たし地域の拠点として推進します。生活困難者、独居高齢者、認知症高齢者などを支援しつつ、地域社会と一体的に活動します。また、福祉避難所として、災害時に要配慮者の方を受け入れるための食糧・物資、機材等の備蓄を用意し体制づくりに努めてまいります。

4、安全衛生管理体制の充実

コロナ等の感染症や大地震等の災害を想定し業務継続計画(BCP)の定期的な研修や交通安全委員会、衛生委員会を中心に安全衛生管理体制を強化します。また、職員の健康管理については特にメンタルヘルス対策、生活習慣病対策、健康診断のあり方の検討や保健師の事業所訪問による健康相談を引続き行い、疾病予防に取り組みます。

令和7年度 指定介護老人福祉施設清流園  
事業計画

**1、個人の人権・意思決定支援の取組**

日々の生活の中で自分で選び、決定することで、よりその人らしい生活が継続できるよう支援します。

その結果利用者様の人権の尊重に努めます。

**2、個人の思いに沿った関わりの推進**

入所した時より、看取りケアを念頭に置き、ご本人の希望に沿ったサービスの提供に努めます。また園での生活が豊かなものになるよう、家族様にも日々の様子を伝え、ともに過ごせる時間を提供します。

**3、感染対策への取組**

施設内に病気を広げないように、職員の体調管理、事前の検査など早期の対応を行います。入所より少しでも長く、穏やかに過ごしていただけるよう努めます。

## 令和7年度 清流園地域密着型介護老人福祉施設 事業計画

### 1、個別的な関わり、外出支援の強化

生活歴等を参考に個別的な関わり、外出の機会を増やし、多くの社会資源を活用した外出の支援に努めます。また、ご利用者の方との関わりについても季節を感じて頂けるような取り組みを行っていきます。

### 2、感染症対策の取り組み

感染症対策委員会を中心に、感染症対策の徹底と園内での感染を未然に防ぐ為、職員研修を定期的に行い、ご利用者の方が安心して暮らせる施設運営を行います。

### 3、科学的介護の取組

人間としての尊厳を守る為にもアセスメントをしっかりと行い、介護度の高いご利用者の方であっても、負担のないように可能な限りトイレにて排泄して頂くように支援を行っていきます。また、職種間で連携をとり、褥瘡ゼロを維持していきます。

### 4、稼働率の維持

要介護4、5の方の受け入れと認知度に留意して、他の施設やご家族の方とも連携をとり、入所までの期間を短くする事で稼働率98%を目標に取り組んでいきます。

### 5、短期入所事業の空床利用

長期入院時に空床利用を行い稼働率の維持に努めます。

## 令和7年度 清流園通所介護事業所 事業計画

### 1、 1日平均45名（月～金50名・土40名・日20名）の利用者獲得を推進

様々な活動を通して精神と身体機能を活性化、維持することにより、安心と安全の中で在宅生活を継続して頂ける様、利用者様と家族をサポートいたします。

困難ケースや重度の方、ターミナルケア等、多種多様な利用者を幅広く積極的に受け入れ、職員個々の成長とともに事業所のさらなるサービス向上を目指してまいります。

利用者の方が安心・安全に気持ちよくご利用頂けるよう、提供時間・利用者数・人員を勘案し、そのすべてにおいて適正を追求します。

### 2、利用者の希望・要望が反映し、主体的に自己実現できる時間と空間の提供

#### 《イベント・行事・外出の推進》

プログラムを、これまで以上の形で充実させ実践いたします。これが利用者の満足度へつながり、さらに職員のモチベーションアップへと好循環を生むよう最大限の努力をしております。地域ボランティアの方を積極的に受け入れ、交流・行事等の充実に協力していただきます。

#### 《究極の自己実現の場であり、自然に交流広がるカラオケルームの活用》

好きな歌、懐かしの歌、思い出の歌など気兼ねなく歌うことが出来る、文字通り究極の自己実現空間です。またカラオケを通して地域の方との交流をはかり、施設やサービスについて広く知っていただく貴重な機会となります。

#### 《機能訓練・日常動作訓練による機能維持と事故防止》

常に利用者様に寄り添った対応を心掛け、利用者様自身の意欲・積極性の維持・向上に努めます。自宅での日常動作を念頭におき、利用時の動作すべてについてアセスメントし、日常ケアを行うことで機能維持・事故防止につなげて参ります。

また看護職員を中心に、フットケア、スキンケア、マウスケア、イヤークケアなどに目を向け、浮かび上がる在宅生活の実態を機能訓練に反映していくことで利用者様に必要かつ有効な自立支援サービスを提供します。

### 3、安定的人材確保・資質の開花と感染症対策

職員一人ひとりが、仕事にやりがいや魅力を感じ、適性・快活に働くことが出来る職場環境づくりに力を入れます。また会議・ミーティングを定期的に開催し、研修を重ねることで資質の開花を促します。そして個々がもてる力を職員同士が認め合い、それぞれの個性を発揮できる働き方を追究し実現します。

令和7年度 訪問介護事業所  
事業計画

1、基本方針

利用者が可能な限り居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことが出来るよう配慮して、身体介護、その他生活全般にわたる支援を行います。また、利用者の介護状態の軽減もしくは悪化防止に資するよう、その目標を設定し、計画的に行い、常に利用者の立場に立ち、サービスの提供に務めます。

2、質の向上

専門職としての自覚を持ち、法令順守はもちろん、利用者一人一人の多様な生活、文化、価値観を尊重し、利用者の基本的人権の尊重、個人情報の保護を厳守します。職員間の連携強化、サービス提供状況の確認、各種連絡、報告、相談等を目的に月1回ヘルパー会を開催します。

年間の研修計画を元に、外部研修にも参加して、スキルアップを図ります。

3、情報伝達および報告体制の強化

利用者へのサービス提供をチームで行い、ご本人や家族、介護者、ケアマネ、その他各種関連機関との積極的な連携を図り協力して支援します。

4、事故予防、発生時の対応について

サービス提供の際には、安全に配慮した環境を整え、危険リスクを未然に回避できるようにします。利用者の健康管理は元より、職員自らも健康管理、感染予防等を行います。

5、実績の向上

居宅支援事業所に空き情報を伝え、訪問の依頼があれば、可能な限り受け入れをします。依頼に答える為に人員の確保をします。

令和7年度目標件数（1ヶ月）

訪問介護	140件
総合事業	35件

令和7年度 指定障がい福祉サービス事業所  
事業計画

1、居宅介護

個別の支援計画に基づき援助します。関係者で密に連絡を取り状況の把握に努め、精神的に安定した生活が送れるように支援します。

2、移動支援

事前に個別の外出の内容、外出のルート、介助法を把握して本人の希望も伺い安心して外出できるように安全第一に心がけ、社会参加を満喫して頂きます。

3、重度訪問介護

複数の事業所で訪問しているケースについて、相談員さんを介して出来るだけ訪問できるように協力して、利用者の精神の安定と、家族の負担軽減に努めます。

4、資質の向上

モニタリングを行い、日々の身体面、精神面の状態把握をして情報共有を行いサービスの統一を図ります。又、研修を活用して障がいの特性を学びスキルアップに努めます。

5、安全、衛生

多種のウイルスに感染しないように決まり事を守り、感染防止に努めます。又、災害時に速やかに対応出来るようにBCP策定を元に定期的に訓練を行います。余裕をもって事故の無いように努めます。

令和7年度目標件数

居宅介護	10名
重度訪問介護	2名
移動支援	5名

令和7年度 清流園短期入所生活介護事業  
事業計画

1、おもてなしの心を大切に柔軟な対応の実施

常にご利用者、ご家族の目線に立った対応を重視し、介護負担の軽減に最大限の協力をします。在宅生活での情報を十分に把握し環境面・精神面への配慮を行います。ドライブやパソコンの活用、体操、ゲーム、可能であれば個別活動等の支援で活気ある生活を推進します。傾聴、受容の時間を設け本人からの要望など伺い、ニーズに即したサービスを提供します。

2、利用者・家族との信頼関係

明るく笑顔での対応をモットーにご家族との情報交換を密にし、定期的なアンケートを実施し、円滑な日常生活が営まれ、生きがいが見いだせるきっかけづくりになるよう支援します。

3、稼働率90%

定期的に居宅事業所への宣伝や空き情報の提供を実施し、又新規利用の継続に向けて色々なアプローチを工夫し獲得に向けて努力します。

4、感染予防

コロナウイルス対策が5類となり制限がかなり緩和されています。インフルエンザやノロウイルス等の感染予防のため、職員のマスク着用、手指消毒、施設内の消毒等を行います。又、ご利用者には入所時に検温や体調聞き取り感染予防に取り組みます。

感染発生時に、やむを得ない事情で利用希望があった場合は、感染対策を行い柔軟に対応できるようにします。

## 令和7年度 清流園在宅介護支援センター 事業計画

### 1. 自立支援及び生活の質の向上に資するマネジメント力の強化

利用者像を把握し、情報を整理、分析をして目指す生活の課題を導き出し、口腔ケアや食事、栄養面を含めた適切なアセスメントに資するように努め、利用者の方がその可能な限り居宅においてその有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるように、保健、医療、福祉サービスが効果的に提供されますように努めます。新型コロナウイルス感染症やその他の感染症の拡大防止の強化を図ります。感染症や災害が発生した場合であっても必要な介護サービスが継続的に提供されますように努めます。

### 2. 要介護更新認定調査、居宅介護支援の受入れ推進

市役所、又は市外からの調査委託の依頼があった場合は、積極的に受け入れます。新規の要介護認定に係る申請につきましては、利用申し込みの方の意思を踏まえて速やかに申請が行えるように支援します。

入院や施設入所等の状況の変化や対応方法を確認し、市役所、あんしん支援センター等からの居宅介護支援の依頼があった場合は、積極的に受け入れます。

### 3. 事例検討会、研修会への積極的かつ継続的な参加

高齢者の自立支援、要介護状態の重度化防止や地域共生社会の実現、地域包括支援システムの推進を図っていくために事例検討会、研修会に積極的に参加し、支援方法の知識や改善方法等を学び、多様なニーズに対応できるように研鑽を積みます。事業所内でコミュニケーションを大切にし、フォローアップ会議で情報を共有しながら、専門性の向上に努めます。

### 4. 連携の強化

高齢者あんしん支援センターや市役所、医療機関等と連携を図り、支援困難事例につきまして事業所内で対応方法を検討します。

令和7年度 清流園地域密着型短期入所生活介護事業所  
事業計画

1、 個別支援の強化

利用者の方がショートステイでの生活を楽しんで頂けるよう、趣味等をしっかりアセスメントして関りを持ちます。また、好評であるドライブ外出でも、ご利用者のリクエストを取り入れながら、春の花見や秋の紅葉等の季節を感じて頂ける場所に出かけていきます。園内では日々楽しんで頂けるようなイベントを行い、退所時に手紙や写真をお渡しし、ご家族にもその情報を発信していきます。

2、 稼働率の維持、向上

空き情報を居宅の介護支援専門員と共有するために情報提供していきます。また、可能な限り緊急時の利用、キャンセル時には他の利用者の方を受け入れていく事で稼働率85%を目標に取り組んでいきます。

3、 困難事例の受け入れ

介護支援専門員、他施設、多職種と連携を取り、特に困難事例の場合は積極的に担当者会に参加し、受け入れ体制を整えていきます。

サービス利用中は、ご家族とも協力して、不穏、大声、介護抵抗等の困難な事例には職員の対応方法でよかった事、うまくいかなかった事等、ご利用者の日々の様子を記録し今後に活かしていきます。

## 令和7年度 プライム清流園通所介護事業所

### 事業計画

#### 1. 利用者拡大と柔軟な受け入れ体制の構築

1日当たりの利用人数14.6名を目指します。

そのために日曜の利用者数を一日7人以上確保出来るようにします。

空きや休み・入院等が出たときは、新規利用者を増やしたり、既存利用者のニーズに合わせ利用回数を増やしてもらうようケアマネ・家族とコミュニケーションをとっていきます。

また現在は平均介護度1.4ですが、介護度に関係なく、幅広く受け入れを行っていきます。

#### 2. 少人数デイサービスの魅力を活かした柔軟な活動展開

少人数のデイサービスの特性を生かし瞬発力を持って行事・イベントを開催していきます。

前年度実施したアンケートの結果をもとに、外出活動を増やしていきます。

ウッドデッキや中庭を活かし、天気の良い時は椅子やテーブルを使ってもらったり

気分転換に芝生エリアで活動してもらいます。

個別活動として植物を育てたり、庭の美観活動等を職員と共に行っていきます。

動物によるアニマルセラピーを清流園内で展開していきます。

#### 3. 役割分担を通じた成長とやりがいの創出

職員スキルアップのためにそれぞれに適した外部研修に参加していきます。

各職員に役割分担を持ってもらい、やりがいや責任感を育てていきます。

役割分担に応じて、内部研修をしてもらうことを検討しています。

職員の持っている力を引き出したり、自由に発想をしてもらえるよう心理的安全性のある職場づくりをしていきます。